

～芸術文化の創造拠点!あなたにトキメキを～

令和4年度 芸術創造センター バレエ・アカデミー 開講



バレエ・アカデミー

「令和4年度バレエ・アカデミー」講師



早川麻実先生



田川陽子先生



窪田弘樹先生



後藤晴雄先生

今年度、実に4年ぶりの開催となった芸術創造センター「バレエアカデミー」には、各バレエ団から推薦された26名の有望な若きダンサーたちが参加。
公演は令和5年2月11日(土)、12日(日)。
トキメキ通信では今後、「アカデミー・レポート」を随時掲載していきます。

今月号のトピック

芸術アドバイザー

☆ 名古屋芸術大学教授 梶田 美香

イベントレポート

☆ 小学生職場訪問
☆ A TEAM BIG BAND

横山美術館 企画展
東京・横浜焼

2022年11月18日(金)▶

2023年2月12日(日)

開館時間:10:00~17:00(最終入館16:30)
休館日:毎週月曜日(祝日の場合は翌平日)
年末年始(12月29日~1月4日)
場所:芸術センター北側
トキメキ通信持参で100円引!
地下鉄東山線 新栄町駅①出口より徒歩4分
電話:052-931-0006

横山美術館
Yokoyama Art Museum



開催日	催し物名	開催時間	問い合わせ先	入場料
3 (土)	梅棒 15th "RE"PLAY	18:00~	(株)サンデーフォークプロモーション	SS席 9,300円 S席 8,300円 U-25 サービスエリア 3,500円 (全指定席)
4 (日)	『シン・クロス ジンジャー ハリケーン』 千ヶ取扱	13:00~ 18:00~	052-320-9100	
9 (金)	ミュージカル	18:30~	メニコンビジネスアシスト(MBA)	前売 6,000円 当日 6,500円 高校生以下 3,000円 友の会 5,700円(前売のみ) (全指定席)
10 (土)	「もうひとつのキミのために散る」 千ヶ取扱	15:00~	イベント・クリエーション部	
11 (日)	東海太鼓センター 創立30周年記念音楽会 千ヶ取扱	18:00~20:00	(有)東海太鼓センター 052-842-6910	S席 5,000円 A席 3,000円 B席 2,000円 (全指定席)
13 (火)	令和4年度 名古屋市芸術創造センター施設事業 アートマネジメント講座 劇場フロントスタッフ講座	14:00~16:00	名古屋市芸術創造センター 052-931-1811	参加費 500円 当日支払
14 (水)	あいがちゅう ~JARUJARU TOWER 2022~	19:00~21:00	FANY チケット票券管理室 03-3209-8458	前売 6,000円 当日 6,500円 (全指定席)
17 (土)	芙蓉流—名古屋支部発足記念— 名古屋おどりの広場舞踊公演	11:00~16:00	芙蓉浩音	無料 (全自由席)
18 (日)	名古屋市芸術創造センター創造活動サポート公演 大中恩メモリアルフェスティバル	14:00~16:00	名古屋市芸術創造センター 052-931-1811	1,000円 (全自由席)
21 (水)	★TBC×TCG 大感謝祭 2022★	19:00~20:00	名古屋経済大学高蔵高等学校中学校バトン部チャ部 (石黒)052-853-0050	500円 (全自由席)
24 (土)	Studio M 32nd Jazzdance Performance 「PEACE×PIECE」	14:30~16:30 18:30~20:30	Studio M (小田)052-508-5095 052-722-3505	前売 3,000円 当日 3,500円 (全自由席)
27 (火)	Japan Ballet Competition	—	Japan Ballet Competition 実行委員会	前売 2,000円 当日 2,500円 (全自由席)
28 (水)	Grand Championships 2022	—	0120-4180-55	

千ヶ取扱 …名古屋市芸術創造センター 劇場事務室にてチケット取扱い

☆催物は予告なく変更・中止となる場合がありますのでご了承ください。最新の情報は各主催者へお問い合わせください。

なお、主催者の都合により問い合わせ先等を掲載しない場合があります。

☆芸術創造センターの催し物案内やホール・リハーサル室・練習室・会議室等の空き状況はホームページでご覧いただけます。

カンワ電気株式会社
 〒461-0005
 名古屋市東区東桜二丁目3番22号
 TEL <052> 9 3 1-2 5 0 1(代)

いけす 漁場
 芸術創造センター 南150m
 ランチございます。
 屋飲み大歓迎!

<http://www.amano-ltd.co.jp/>

(公財) 名古屋市文化振興事業団 [芸術創造センター]
 〒461-0004 名古屋市東区葵一丁目3番27号
 TEL 052-931-1811 FAX 052-931-7145
 地下鉄東山線「新栄町」駅 1番出口より 北へ徒歩3分
 地下鉄桜通線「高岳」駅 3番出口より 東へ徒歩5分



「友の会」会員募集中!
<http://www.bunka758.or.jp/>

芸術創造センター

芸術アドバイザーのご紹介

芸術アドバイザーの梶田美香です。

現在は研究者を本業としており、大学に勤務して文化政策やアートマネジメントの分野の授業を担当しています。しかしキャリアのスタートは演奏者(ピアノ)ですので、途中からキャリアチェンジをしたことになります。ただ、演奏の仕事も、研究の仕事も、常に状況判断と、素材の組み合わせと、新たな投げかけを考えているような気がしますので、実際には「創造的」という点で共通していると感じています。



演奏風景

いつも、「音楽って何の役に立つのだろう」と考えてきました。それは、音楽を志した10代の頃からのような気がします。いい演奏をすることでお客様が喜んでくださることが音楽家の使命だと思ってきましたが、演奏の仕事を重ねるごとに、もっと広く社会全体にとっての音楽の必要性が知りたくなりました。

そこで、文化芸術以外の分野から音楽のことを考えたくて、通信教育課程のある大学の教育学部に編入して教育学を学びました。

その後、大学院に進学し、教育学研究室に籍を置いて、教育学を中心に、心理学、社会学、社会福祉論なども学びながら、博士課程まで過ごしました。この時に書いた論文がアウトリーチに関するもので、今でも続いているアウトリーチ研究との長い付き合いの始まりとなりました。



一般財団法人地域創造のパネルディスカッション

アウトリーチとは、「劇場等の舞台空間ではない場所で、一定の対象者に対して社会的意義を目的とした文化芸術活動を行うこと」と、現在は整理しています。

とかく“文化芸術を広めたい、理解して欲しい”と思いがちなのですが、本当に文化芸術が人の力になるということは、その人の人生の中で、文化芸術経験が意味を持つということかなと思い、相手に寄り添った内容を考える手作業のような企画制作が私の考えの軸となっています。

芸術アドバイザーとして、皆さんの企画制作のお手伝いをしたいと思っていますので、ぜひお声がけください。

何か、一緒にやりましょう！

名古屋芸術大学教授 梶田美香 氏

名古屋市生まれ。音楽大学ピアノ科を卒業後、通常の舞台公演や、ワークショップ、アウトリーチの活動を行う。名古屋市立大学大学院修了。博士(人間文化)。研究における専門領域は、アウトリーチ、文化政策、アートマネジメント等。名古屋芸術大学教授。名古屋大学、南山大学非常勤講師。(公財)音楽文化創造理事を務めるほか県内各地の文化行政委員を歴任。「コンサートの企画制作、アウトリーチやワークショップについて何でもお気軽にご相談ください。」



小牧市市民会館・公民館でのイベント朝礼

芸術活動についての相談・質問をお寄せください。

- Q.コンサートを企画しているが何か新しいことを取り入れたい。
- Q.自分の活動している方向性はこれでよいのか悩んでいる。
- Q.ワークショップを企画するうえで相談したいことがある。
- Q.いま学んでいる芸術を将来の仕事にすべきが迷っている。

…などなど

名古屋市芸術創造センターの芸術アドバイザーが質問等にお答えします。メールに下記内容を入力し、
○相談タイトル・質問するアドバイザー名
○お名前 ○年齢 ○地域
○所属団体(任意)
○メールアドレス ○ご質問内容
→「送信」ボタンを押してください。
相談に関する料金はかかりません。皆様のご利用、お待ちしております！



左から、佃典彦氏(劇作家、演出家、俳優)、やまもとかよ氏(ソプラノ歌手)、大寺資二氏(バレエダンサー)、逆瀬川浩氏(舞台監督)、梶田美香氏(名古屋芸術大学教授)

もう何年も前のこと、会社帰りにカフェに入り須賀教子の『ゴルシカ書店の仲間たち』を読んでいたところ、不意に「幸せとはこういうもの」の声が湧き上がってきた。その印象は今も強く、一首にして残すこととした。

「今月のうたは、芸術創造センターをご利用いただいている団体の皆様に月替わりでご協力いただいています。」

今月のうた

カフェラテを飲みつつつづめくりおればふと湧き立てり幸せの感

幻桃短歌会 吉田誠治

小学生職場訪問

東区葵小学校2年生のみなさんが、芸術創造センターを訪問しました。

リハーサル室や練習室、会議室のほか、ホールでは照明室や映写室なども見学し、普段はなかなか見られない舞台裏を見学してもらいました。



芸術創造センターは客席640席！！

早川館長の今日この頃 ～気楽に楽しめる王道シリーズ映画～

数か月前の話ですが、映画を見に行こうと思い、どの作品にするかいろいろ迷った挙句、ジュラシック・パークの最新版「ジュラシック・ワールド」を見ることにしました。

ジュラシック・パークのシリーズはとくに大好きというわけでもありませんでしたが、実際に映画を見る前からおおよその展開も予想できるという安心感のほか、その時は、仕事でストレスを抱えており、「とにかく何も考えず単純に映画を楽しみたい」という気分で選んだ映画がこれでした。

そして実際に見終わってみると、まさに予想通り。谷から車ごとゴロゴロと回転しながら落ちて行っても、乗車している人間はみんな無事(というか、ほとんど無傷)。主人公の一人が滑走路から離陸直前の飛行機に飛びついて、後を追う恐竜も飛びつのですが、結局は恐竜だけが振り落とされるなど、ご都合主義の王道を突き進む演出に脱力しながらも、最新の映像技術で引き込まれ、最後まで飽きずに見続けることができました。

その半月後、芸創センターで一緒に働いている同年代の方がトップガンの最新版を見に行つて、「面白かったです!!」と言っていました。さすがにそれはどうなのか、とも思いましたが、ジュラシック・パークも同じようなもので、このように年齢層に応じたコンテンツというものはマーケティングとしてしっかりと存在するのだなあと改めて思う今日この頃です。



☆名古屋市芸術創造センター創造活動サポート公演☆

LIVE REPORT

さる10月2日(日)、AチームBIG BANDのライブが開催されました。

今回は、箏の演奏を組み入れるなどこれまでにない演奏にも挑戦。当日は多くのお客様が来館され、迫力ある生演奏を楽しんでいただきました。



芸創職員Tの、芝居がかった日 第二幕

スマホどころかネット接続環境も珍しかった時代、青少年は日常的にラジオを聴いていたものです。そんな時代に青少年だった私も例にもれず、宿題に追われながら深夜ラジオを流していました。当時の大

敵はCBCラジオ。富田和音アナ・鉄崎幹人氏・戸井康成氏のDJが面白すぎて、マンガ家が原稿を落とすようにして、宿題を何度も落としかけたものです。(落としかけるだけで済んだのかについては、時効完成です)

さてラジオも進化した今、オンエア済みの番組をスマホにダウンロードして聴ける時代です。つまり深夜ラジオも翌朝以降に聴けるので、昨年から日曜深夜に始まったFM愛知の『劇団エフエム30-DELUX』を毎週聴いています。何しろこの番組は、名古屋のエンターテインメント創造を手がける人を中心に、金谷かほり氏(B'zのステージを手がける演出家)、荻谷隆司氏(ディズニーオンアイス仕掛人)など幅広いゲストばかり出演するので、1回も聴き逃さないのです。さて次は誰が来るんだろう? と思っていた夜、パーソナリティから「芸創センターのTさん、この先出演できますか?」と連絡が。ゲストの幅の広さに一般人が含まれるというのはともかく、自分が含まれるとはまったく思っていませんでした。しかし、なんかエライ事態になっている事に気づいたのは、反射的に出演承諾の返事を送った後だったのです。

こうして10月に、人知れずFMラジオデビューし、気づかれる前に引退しました。アプリで後から聴けるし、毎週かかさず聴く番組なのですが、この回はちょっと怖くて、聴くのに勇気がいりました…。



公益財団法人
横山美術館



ヤマザキマザック美術館
THE YAMAZAKI MAZAK MUSEUM OF ART



古川美術館

FURUKAWA Art Museum
公益財団法人 古川知足会



又代のみろこ美術館
【名古屋市旧川上貞奴邸】



トキメキ通信持参で、古川美術館・爲三郎記念館共通入館料200円引。ヤマザキマザック美術館は入館料100円引(5名まで)。